

# 哲學研究

第四十二卷 第十二册

第四百九十四號

昭和三十九年十二月一日發行

價値理論の諸問題……………

J・N・フィンドレ  
土屋純一 譯

ライプニッツの實體論……………

田中英三

— 神の創造におけるその基盤 —

デカルトにおける懷疑論の克服……………

坂本博

書評

第四十二卷總目次

史學研究會

京都大學文學部内  
京都哲學會

## 京都哲學會規約

- 一、本會は廣義における哲學の研究とその普及を圖ることを目的とする
- 一、右の目的のために左の事業を行う
  - (一) 毎月一回會誌「哲學研究」を發行する
  - (二) 毎年公開講演會を開く
  - (三) 隨時研究會を開く
- 一、本會の事業を遂行するために委員若干名をおく  
委員は京都大學文學部哲學科教官及び委員會において推薦したものに委嘱する
- 一、本會に賛助員若干名をおく  
賛助員は會員の中から委員會が推薦する
- 一、本會は會員組織とし會員には資格の制限を設けない  
學校・圖書館・其他の團體は團體の名を以て入會することができる
- 一、會員は會費として年一、五〇〇圓（會誌十二冊分を含む）を前納する  
但し 二回又は三回に分納することもできる
- 一、會員は會誌の配布を受け會誌に豫告する諸種の行事に出席することができる
- 一、本會は事務所を京都大學文學部内におく
- 一、規約の改正は委員會の決定による

## 京都哲學會役員

### 委員

湯本	武水	松藤	服蓮	野長	常辻	棚田	武高	園島	重梶	柿上	井石	池田	
淺吉	藤垣	尾澤	部實	田尾	俊村	中瀬	内田	原	澤山	崎野	島田	田	
幸良	一	義	令正	重又	雅三	公襄	知太	義三	太	芳	俊雄	祐照	
孫治	雄涉	海夫	明康	夫人	郎一	爾	郎	範郎	郎	夫郎	一	夫勉	仁祐

次号論文目次

Suppositio の諸階型……………	山内得立
目的の國……………	青木隆嘉
スピノザの内在論……………	森啓
ベトラルカの反自然科学論争……………	近藤恒一

前号目次

形而上学的な存在は必要か……………	ピーター・アントン 武田弘道訳
神の意志(完)……………	山田晶
——トマス三位一体論における——	
ライブニッツの実体論の問題……………	田中英三
——神の創造におけるその基盤——	
ブルトマンとハイデッガー……………	辻村公一
——信仰と思惟——	

## 会 告

最近の諸物価の高騰のため、次号（四九五号）より、会費一ケ年分（原則として会誌十二冊宛）二四〇〇円、市販定価一部二五〇円に値上げの止むなきに至りました。製作費の騰貴に加え、郵送料の負担も軽からず、当会の運営も一つの困難に直面いたしております。何卒右の事情御諒察の上、会費納入等につきましても一層の御協力を賜りますようお願い申し上げます。尚会費は半ケ年毎（一二〇〇円）お払い下さいませとも結構でございます。

京都哲学会

# 會 告

一、本會は會員組織とし會員には資格の制限を設けません、入會希望の方は京都市左京區吉田京都大學文學部内京都哲學會（振替口座京都四〇三九番 京都哲學會）宛に規定の會費（年一、五〇〇圓又は半年七五〇圓）をお拂込下さい

又會員への會誌送付、バックナンバー購入、及び發賣に關する一切は東京都千代田區代官町二 創文社（振替口座東京九二四七二番 創文社）宛に願います  
一、會費切れの場合は封筒に「前金切」の印を捺しますから直ちに京都哲學會宛御拂込下さい（一年分又は半年分）、會費は原則として本誌十二冊（又は六冊）の送附済を以て前金切れとし、會費の變更其他の事情による過不足は一年（又は半年）毎に精算します

一、會員の轉居・入退會の事務及び編集事務の一切は京都哲學會宛に御通知下さい  
一、本誌の編集に關する通信・新刊書・寄贈雜誌等は本會宛にお送り下さい

## 京 都 哲 學 會

京都市左京區吉田  
京都大學文學部内

昭和三十九年十一月三十日印刷  
昭和三十九年十二月一日發行

### 編 集 人

京 都 哲 學 會  
京 都 大 學 文 學 部 内

編 集 代 表

常 俊 宗 三 郎

### 發 行 人

久 保 井 理 津 男

印 刷 人

印 刷 所

堀 内 文 治 郎

堀 内 印 刷 所

東 京 都 神 田 三 崎 町 二 一 六

### 發 行 所

株 式 會 社

創 文 社

東 京 都 千 代 田 區 代 官 町 二

振 替 口 座 東 京 九 二 四 七 二 番

電 話 九 ノ 内 〇 四 〇 〇 八 番

### 註 文 規 定

一、會員以外の購讀者の御註文及び廣告掲載に關する件は「創文社」へ御申込下さい

一、本誌の御註文はすべて代金送料共（一部、定價一五〇圓、送料・四〇圓）前金にてお送り下さい

昭和三十一年十一月三十日印刷(毎月一回)

THE JOURNAL  
OF  
PHILOSOPHICAL STUDIES  
THE TETSUGAKU KENKYU

---

Vol. XLII

December, 1964

No. 12

---

*Some Problems of Value Theory*..... J. N. Findlay

*The Problems of Leibniz' Theory of Substance* ..... Eizô Tanaka  
— *its Foundation on Divine Creation* —

*La Conquête du Pyrrhonisme chez Descartes* ... Hiroshi Sakamoto

Book Reviews

Robert G. Olson : An Introduction to Existentialism (M.  
Miwa)

A. D. Winspear : Lucretius and Scientific Thought (M.  
Kitazima)

Published Monthly

by

THE KYOTO PHILOSOPHICAL SOCIETY

(The Kyoto Tetsugaku-Kai)

Kyoto University

Kyoto, Japan